

平成27年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題（I期）

《教育実践開発専攻 学習開発コース》

専門科目

注 意

1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。

2 問題紙 4枚、解答用紙 3枚、下書き用紙1枚である。

指示があってから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

3 解答は、解答用紙に清書すること。

4 問題紙は、持ち帰ること。



《学習開発コース》

専門科目 問題 1

< 1 >平成 20 年に改訂された小学校学習指導要領では、その改訂の基本方針として、下記の 3 点が上げられた。この中から 1 つを選び、説明しなさい。

- ① 教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成すること。
- ② 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること。
- ③ 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること。

< 2 >平成 20 年に改訂された小学校学習指導要領において、算数の第 5 学年では、次のような算数的活動を通して指導することと記述されている。

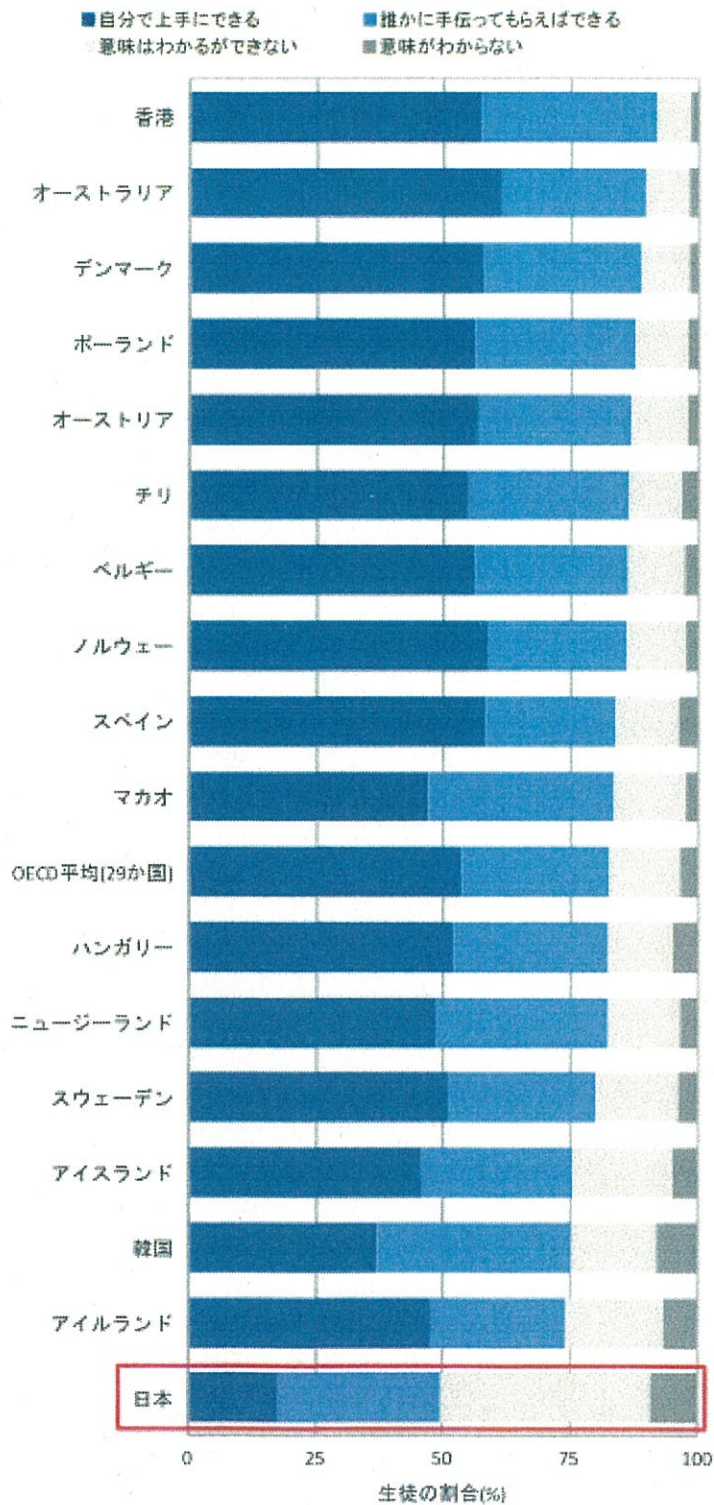
「三角形の三つの角の大きさの和が 180° になることを帰納的に考え、説明する活動。
四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることを演繹的に考え、説明する活動。」

この算数的活動を具体的に説明しなさい。

< 3 >別紙に『OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA2009) デジタル読解力調査』(文部科学省)より、「マルチメディア作品を作ることができる」と回答した生徒の割合」(図 13)「国語・数学・理科の授業におけるコンピュータの使用状況」(図 15・16・17)を示す。

このグラフから読み取ることができる事実を説明した上で、それに基づく具体的な提案を述べなさい。

図 13 マルチメディア作品を作ることができると回答した生徒の割合

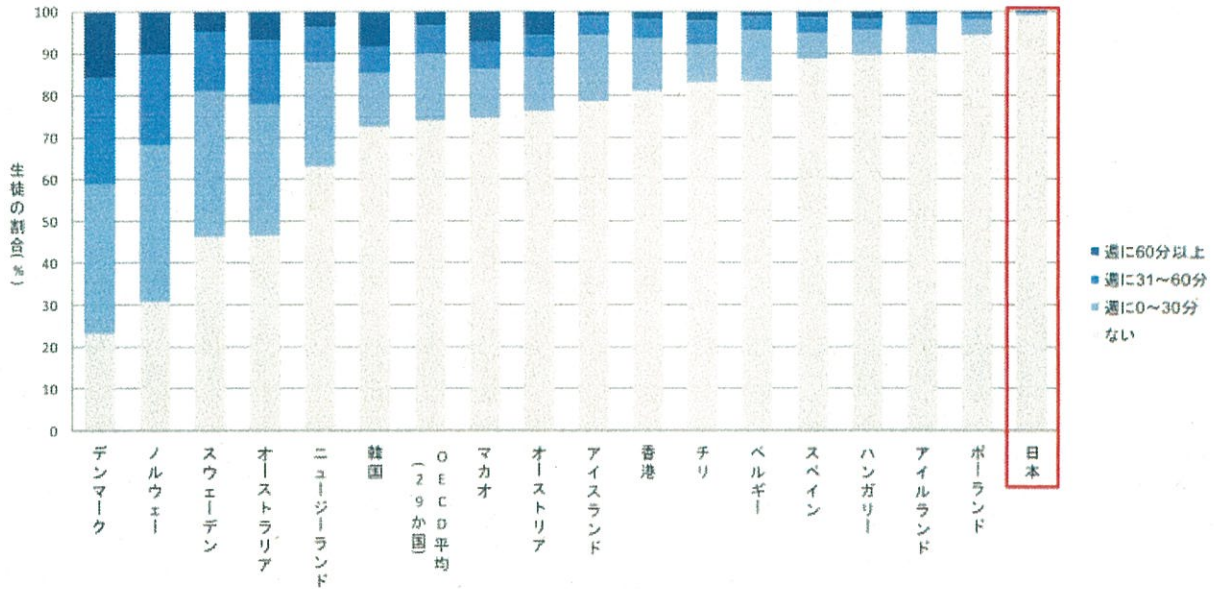


(注) マルティメディア作品を作ることが「誰かに手伝ってもらえばできる」「自分で上手にできる」と回答した生徒の割合の大きい順に上から並べている。

《学習開発コース》

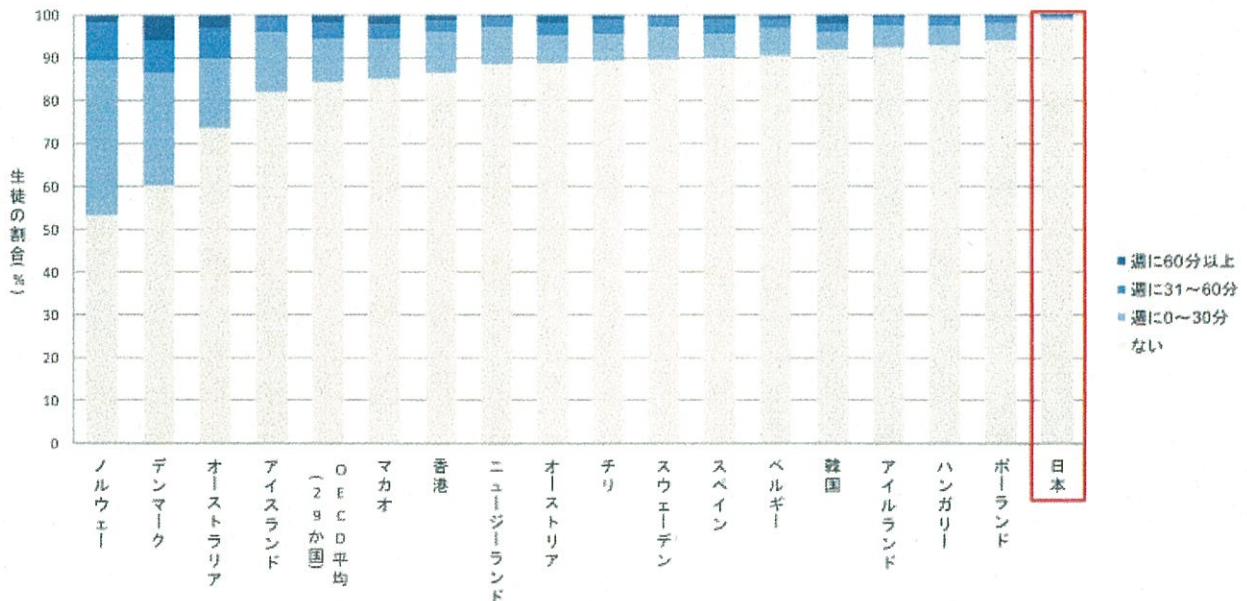
専門科目 問題3

図15 国語の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）



- (注) 1. 国語の授業で少しでもコンピュータを使ったことがある生徒の割合が大きい順に左から並べている。
 2. デジタル読解力調査の参加国のうち、フランスとコロンビアについてはこの問の結果が公表されていないため本表から除く。
 3. OECD平均は、フランス、イギリス、アメリカ、ルクセンブルグ、メキシコを除くOECD加盟29か国の平均。

図16 数学の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）

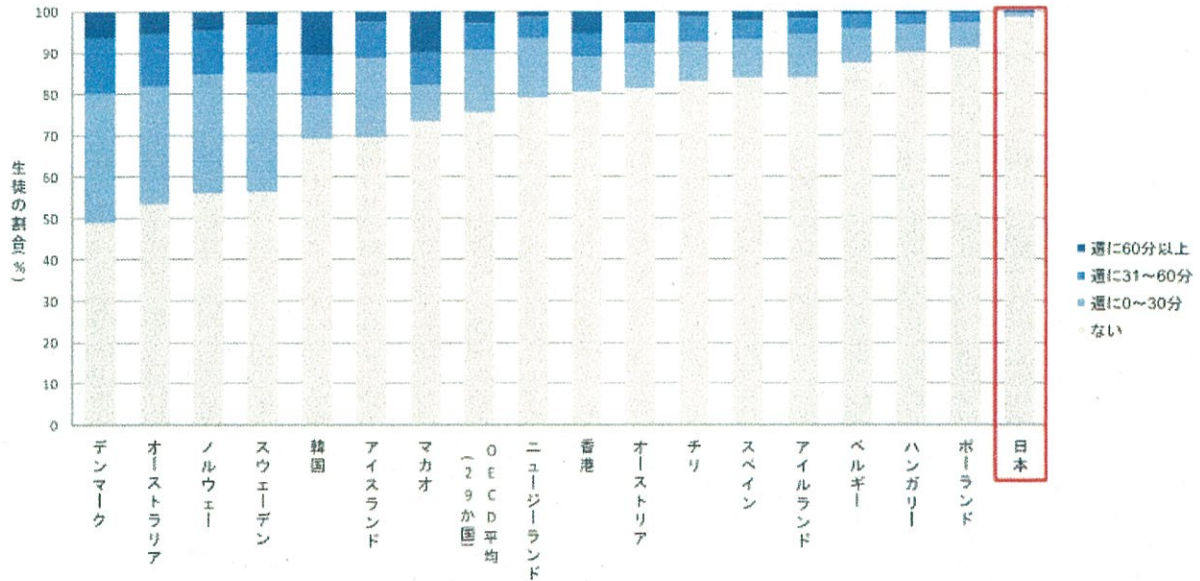


- (注) 1. 数学の授業で少しでもコンピュータを使ったことがある生徒の割合が大きい順に左から並べている。
 2. デジタル読解力調査の参加国のうち、フランスとコロンビアについてはこの問の結果が公表されていないため本表から除く。
 3. OECD平均は、フランス、イギリス、アメリカ、ルクセンブルグ、メキシコを除くOECD加盟29か国の平均。

《学習開発コース》

専門科目 問題4

図17 理科の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）



- (注) 1. 理科の授業で少しでもコンピュータを使ったことがある生徒の割合が大きい順に左から並べている。
 2. デジタル読解力調査の参加国のうち、フランスとコロンビアについてはこの問の結果が公表されていないため本表から除く。
 3. OECD平均は、フランス、イギリス、アメリカ、ルクセンブルグ、メキシコを除くOECD加盟29か国の平均。